

福井県の推計人口

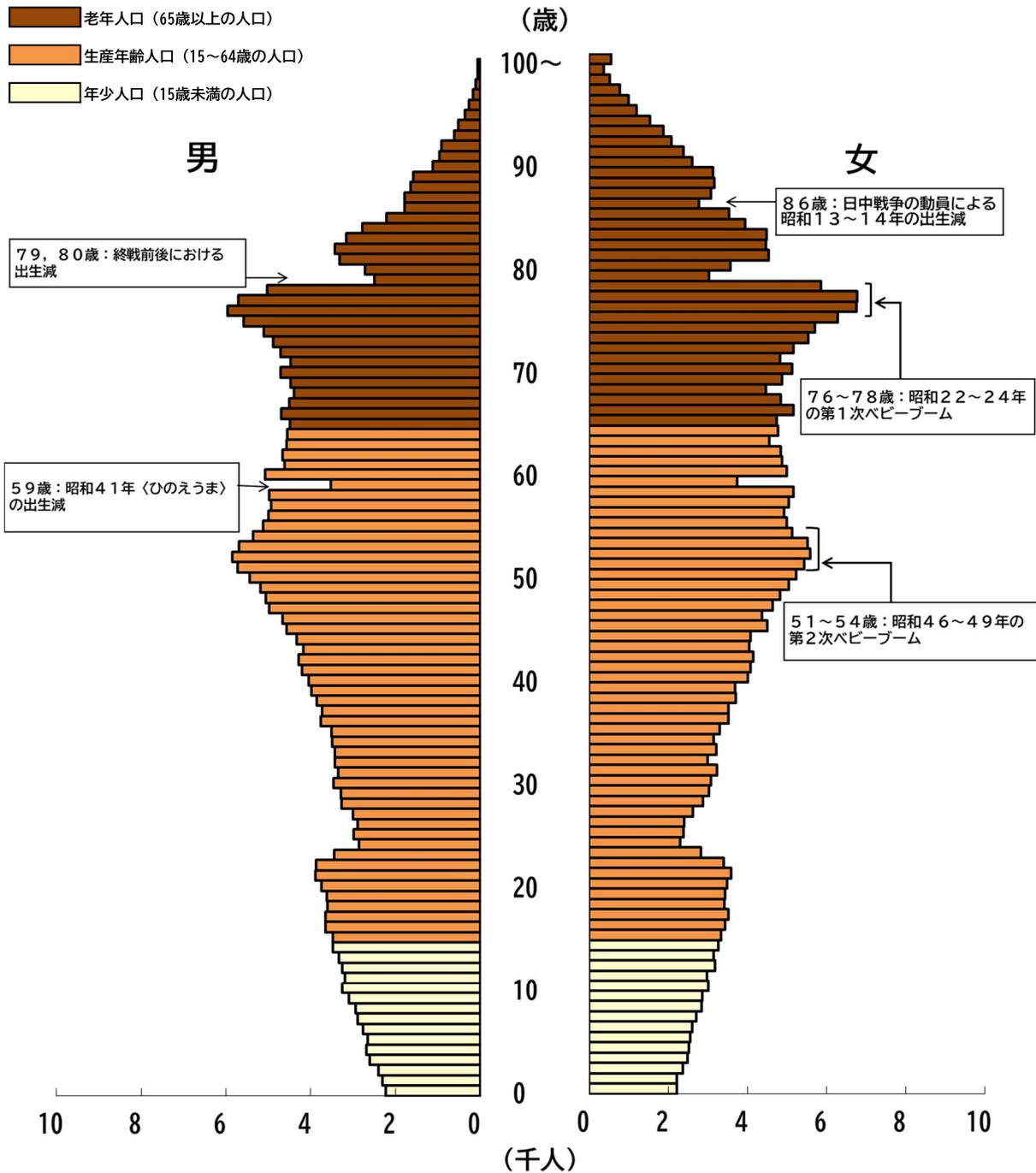
令和7年10月1日現在

(令和6年10月から令和7年9月までの動向)

令和8年2月

福 井 県

参考 福井県の人口ピラミッド（令和7年10月1日現在）



利用上の注意

人口および世帯数は、各年10月1日現在の数字であり、国勢調査実施年についてはその結果を、それ以外の年については、国勢調査の結果にその後1年間の自然増減数（出生数－死亡数）および社会増減数（転入者数－転出者数）を加えたものを掲載しています。

ただし、令和7年国勢調査による人口・世帯数の確報値は、総務省が令和8年9月に公表する予定であることから、本書における令和7年10月1日現在の数字は国勢調査の結果とは異なります。

目 次

概 要

1	福井県総人口	1
	(1) 自然動態（出生・死亡）	1
	(2) 社会動態（転入・転出）	1
2	年齢・男女別人口	7
	(1) 年齢（5歳階級）別人口	7
	(2) 年齢（3区分）別人口	8
3	世帯数	9
4	市町人口	10
	(1) 人口増減	10
	(2) 自然動態	11
	(3) 社会動態	12
	(4) 人口密度	12
	(5) 年齢（3区分）別人口	13
	(6) 世帯数	14
5	外国人人口	15
	利用者のために	16

統 計 表

表 1	市町別人口および世帯数
表 2	人口の推移
表 3	自然動態の推移
表 4	社会動態の推移
表 5	市町別自然動態・社会動態数
表 6	市町別人口の年別推移
表 7	市町別出生数の年別推移
表 8	市町別死亡数の年別推移
表 9	市町別県内転入者数の年別推移
表 10	市町別県内転出者数の年別推移
表 11	市町別県外転入者数の年別推移
表 12	市町別県外転出者数の年別推移
表 13	市町別世帯数の年別推移
表 14	市町別県内移動者数
表 15	市町別・従前の住所地（都道府県）別県外転入者数
表 16	市町別・転出先の住所地（都道府県）別県外転出者数
表 17	年齢別・従前の住所地（都道府県）別県外転入者数
表 18	年齢別・転出先の住所地（都道府県）別県外転出者数
表 19	市町別各種指標
表 20	市町別・年齢（3区分）別人口
表 21	市町別・年齢（5歳階級）別人口
表 22	市町別・年齢別・男女別人口

概要

1 福井県総人口 731,805 人（令和7年10月1日現在）

本県の総人口は、令和7年10月1日現在731,805人となり、令和6年10月1日から令和7年9月30日までの1年間に6,886人減少した。

全国総人口は12,321万人（総務省「人口推計」令和7年10月1日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は0.59%である。また、本県の面積は4,190.56km²（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和7年10月1日現在）であり、人口密度は1km²当たり174.6人である。

人口は昭和46年以降増加傾向が続いていたが、平成12年以降は減少に転じ、令和7年は前年と比べ△0.93%と、26年連続の減少となっている。

(1) 自然動態（出生・死亡）

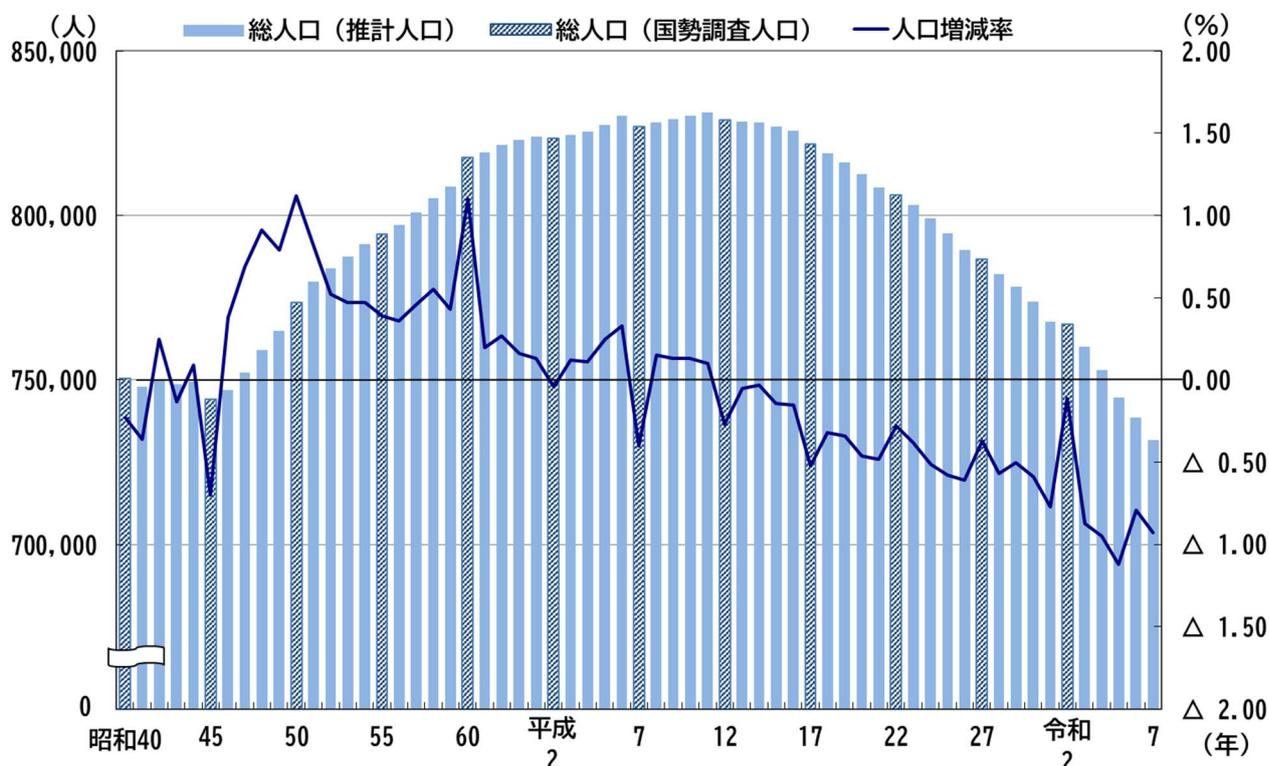
出生数は4,445人となり、前年と比べ83人の減少となった。第2次ベビーブーム期の昭和48年以降減少傾向が続いている。

死亡数は10,540人で、前年に比べ40人の減少となった。この結果、自然増減数は6,095人の減少となり、平成16年以降22年連続の減少となっている。

(2) 社会動態（転入・転出）

令和7年の県外転入者は15,007人、県外転出者は15,798人となっており、この結果791人の社会減少となった。社会動態は、平成13年以降社会減少が続き、令和6年には24年ぶりに社会増加に転じたが、令和7年は再び社会減少となった。県外転入で最も多いのは石川県の1,123人であり、次いで愛知県1,089人、大阪府933人となっている。また、県外転出で最も多いのは東京都の1,549人であり、次いで大阪府1,512人、石川県1,433人となっている。

図1 総人口・人口増減率の推移（昭和40年～令和7年）



(注) 国勢調査年については国勢調査人口におきかえており、国勢調査人口が推計人口と乖離がある場合、人口増減率の変動が大きくなる。

表1 人口の推移（平成元年～令和7年）

（単位：人、％）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	***
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,971
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986
30	773,731	△ 4,598	△ 0.59	△ 3,588	△ 1,010	11,988
令和元年	767,742	△ 5,989	△ 0.77	△ 3,865	△ 2,124	12,436
2※	766,863	△ 879	△ 0.11	△ 3,866	△ 1,197	14,845
3	760,209	△ 6,654	△ 0.87	△ 4,504	△ 2,150	13,796
4	752,976	△ 7,233	△ 0.95	△ 5,159	△ 2,074	14,223
5	744,568	△ 8,408	△ 1.12	△ 5,946	△ 2,462	14,267
6	738,691	△ 5,877	△ 0.79	△ 6,052	175	16,745
7	731,805	△ 6,886	△ 0.93	△ 6,095	△ 791	18,423

【※は国勢調査結果】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～令和7年）

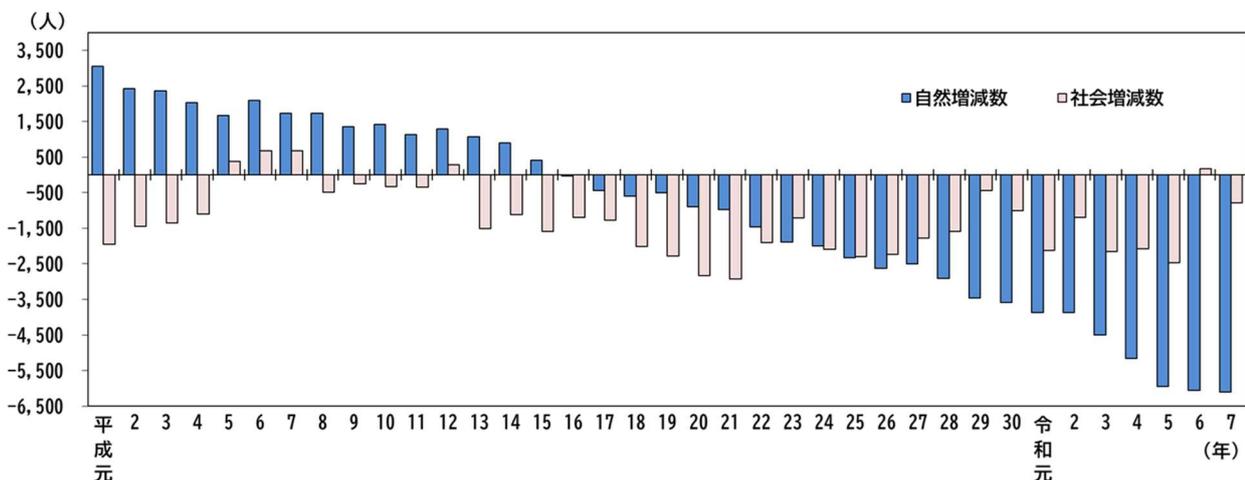
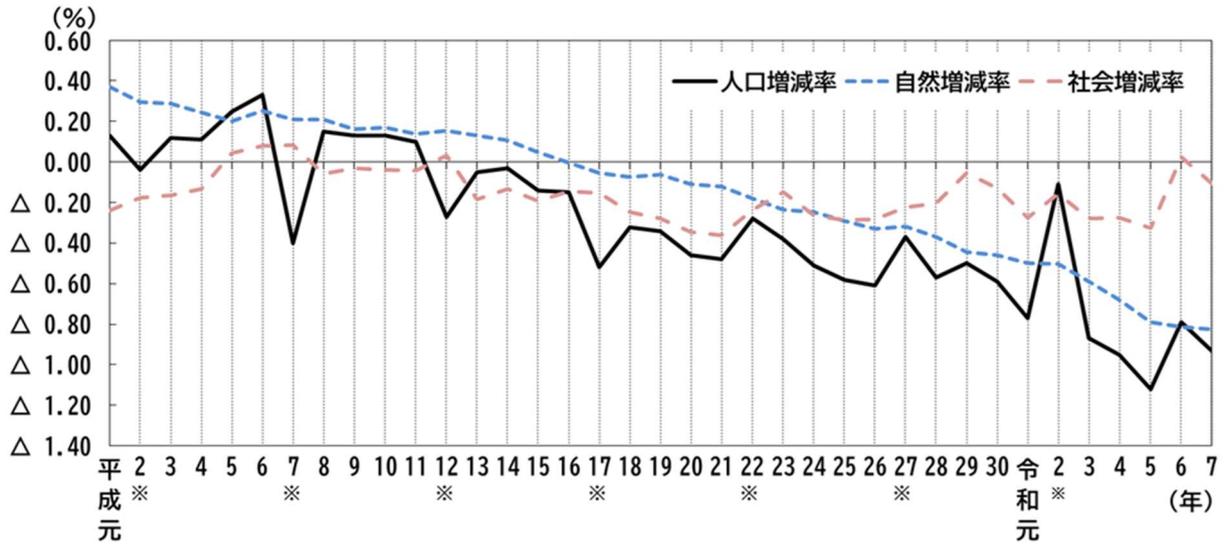


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～令和7年）



(注) 国勢調査年の人口増減率は、国勢調査人口をもとに算出しているため、自然増減率と社会増減率の合計とは一致しない。

【※は国勢調査結果】

図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～令和7年）

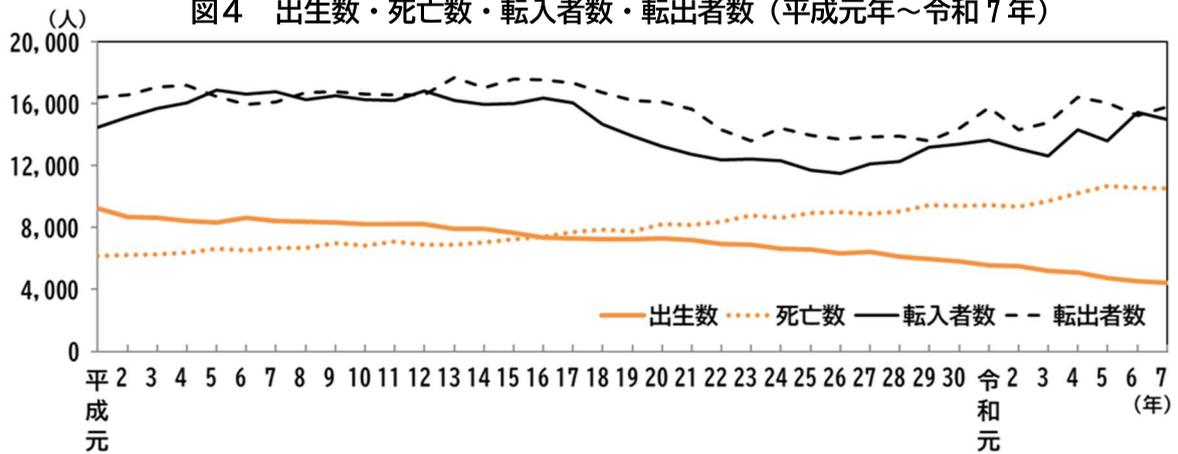


図5 総人口の推移（令和6年10月～令和7年10月）

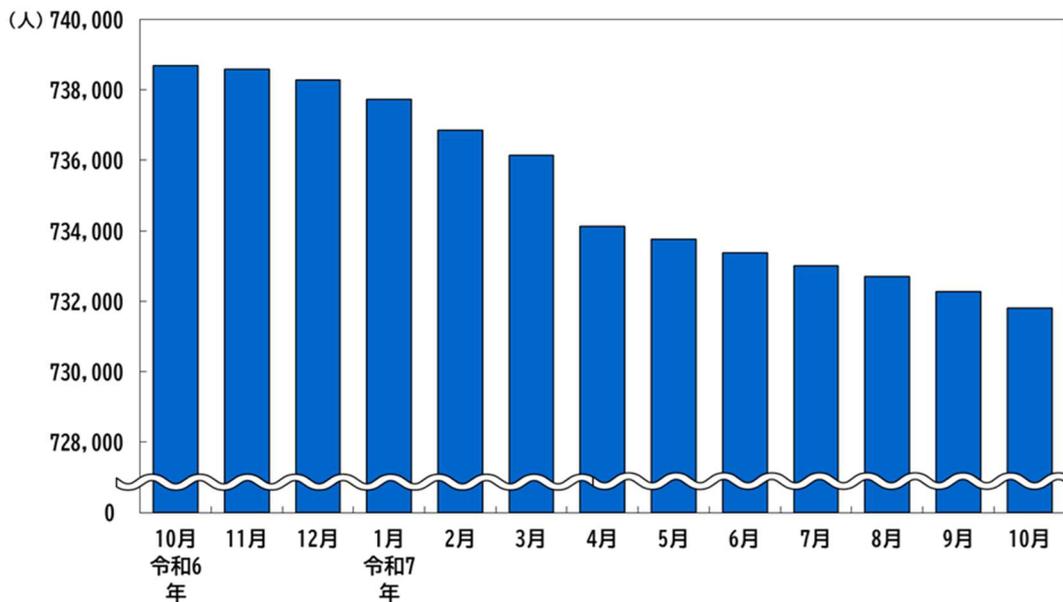


表2 月別人口・移動者数（令和6年10月～令和7年10月）

(単位：人)

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和6年 10月	738,691	△ 100	△ 433	399	832	333	1,204	871
11月	738,591	△ 308	△ 526	323	849	218	971	753
12月	738,283	△ 554	△ 499	401	900	△ 55	894	949
令和7年 1月	737,729	△ 874	△ 838	370	1,208	△ 36	851	887
2月	736,855	△ 711	△ 619	361	980	△ 92	988	1,080
3月	736,144	△ 2,025	△ 627	338	965	△ 1,398	2,582	3,980
4月	734,119	△ 353	△ 550	356	906	197	1,928	1,731
5月	733,766	△ 389	△ 461	335	796	72	1,235	1,163
6月	733,377	△ 375	△ 438	360	798	63	1,111	1,048
7月	733,002	△ 311	△ 344	393	737	33	1,198	1,165
8月	732,691	△ 411	△ 340	425	765	△ 71	974	1,045
9月	732,280	△ 475	△ 420	384	804	△ 55	1,071	1,126
10月	731,805	-	-	389	825	-	1,207	987
総 数		△ 6,886	△ 6,095	4,445	10,540	△ 791	15,007	15,798

(注) 「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

図6 月別自然増減数・社会増減数（令和6年10月～令和7年9月）

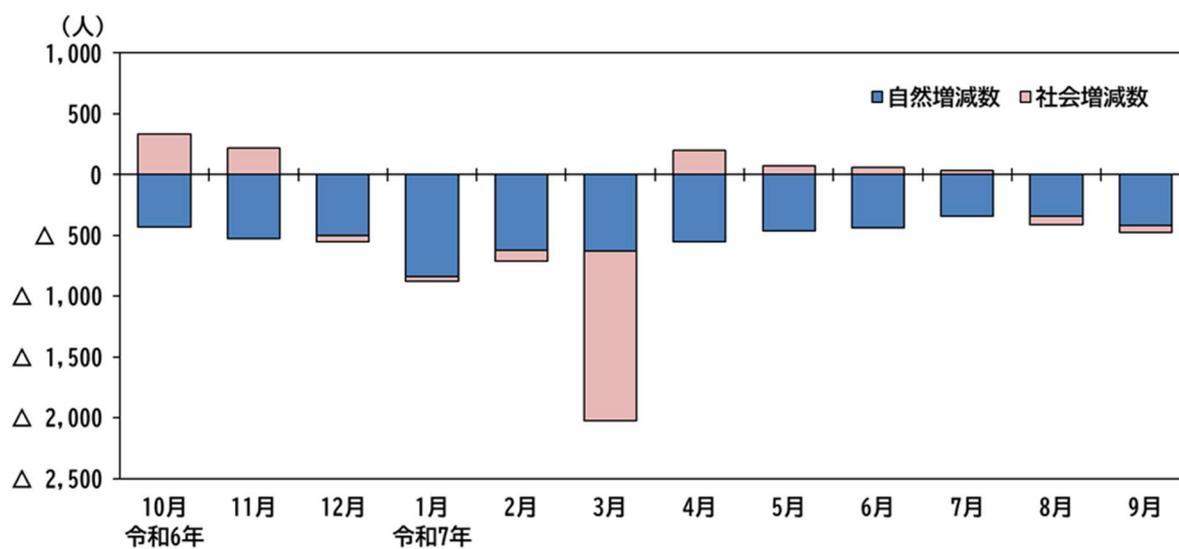


表3 5歳階級別移動者数（令和6年10月～令和7年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	4,445	2,233	2,212	7	4	3	560	289	271	485	244	241
5～9	—	—	—	1	0	1	279	148	131	292	132	160
10～14	—	—	—	2	2	0	159	79	80	144	75	69
15～19	—	—	—	9	6	3	895	452	443	883	485	398
20～24	—	—	—	16	9	7	3,481	1,885	1,596	4,266	2,178	2,088
25～29	—	—	—	7	5	2	3,239	1,760	1,479	3,318	1,857	1,461
30～34	—	—	—	12	4	8	2,009	1,145	864	2,026	1,179	847
35～39	—	—	—	17	10	7	1,245	699	546	1,186	684	502
40～44	—	—	—	36	17	19	863	502	361	824	479	345
45～49	—	—	—	65	43	22	656	399	257	660	416	244
50～54	—	—	—	106	68	38	579	381	198	631	376	255
55～59	—	—	—	145	101	44	376	248	128	348	229	119
60～64	—	—	—	235	171	64	264	175	89	230	144	86
65～69	—	—	—	383	270	113	109	77	32	148	84	64
70～74	—	—	—	723	502	221	85	49	36	86	40	46
75～79	—	—	—	1,171	789	382	86	41	45	87	36	51
80～84	—	—	—	1,622	927	695	60	24	36	73	26	47
85～89	—	—	—	2,046	1,019	1,027	35	10	25	60	12	48
90以上	—	—	—	3,937	1,228	2,709	27	10	17	51	18	33
総数	4,445	2,233	2,212	10,540	5,175	5,365	15,007	8,373	6,634	15,798	8,694	7,104

図7-1 5歳階級別県外転入者数

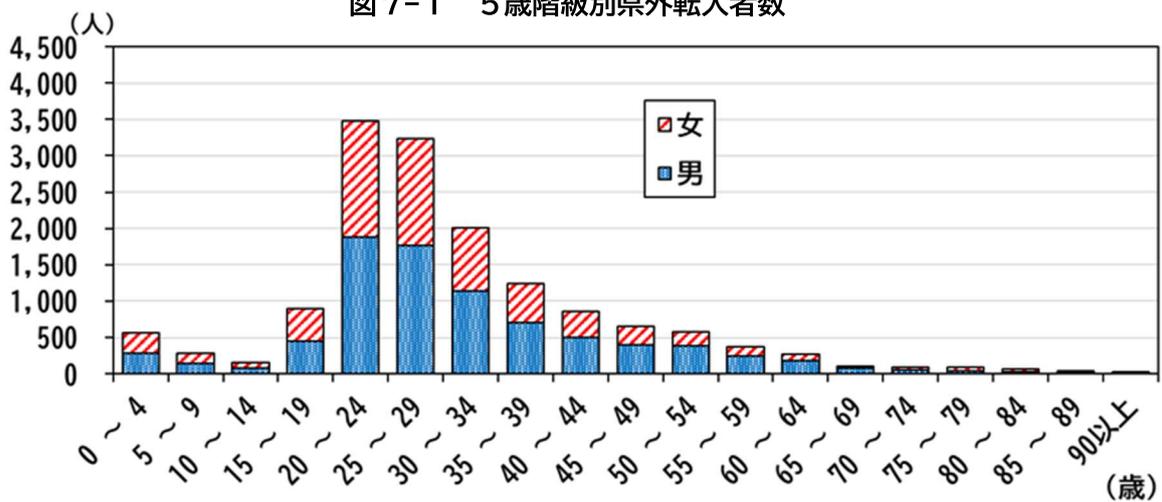


図7-2 5歳階級別県外転出者数

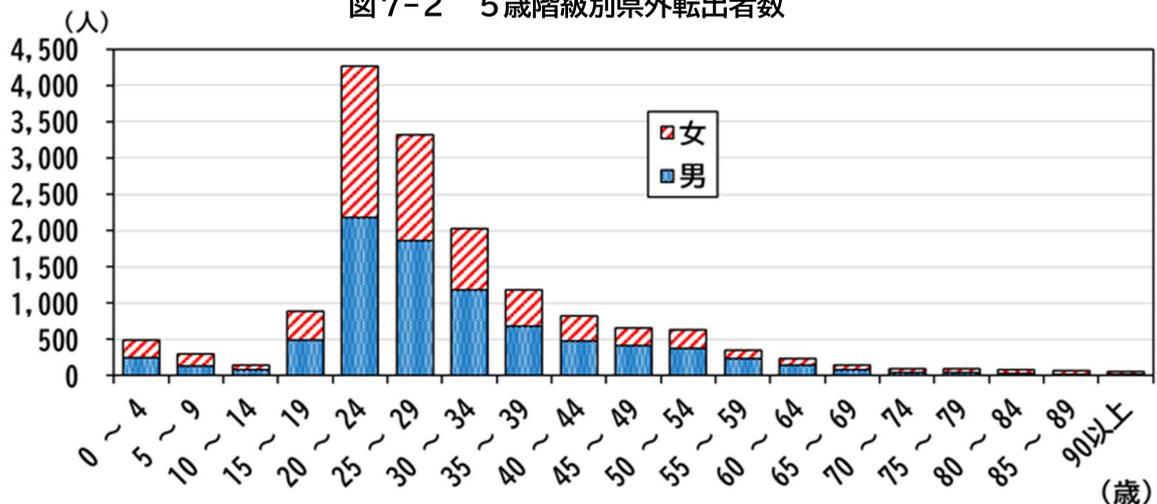
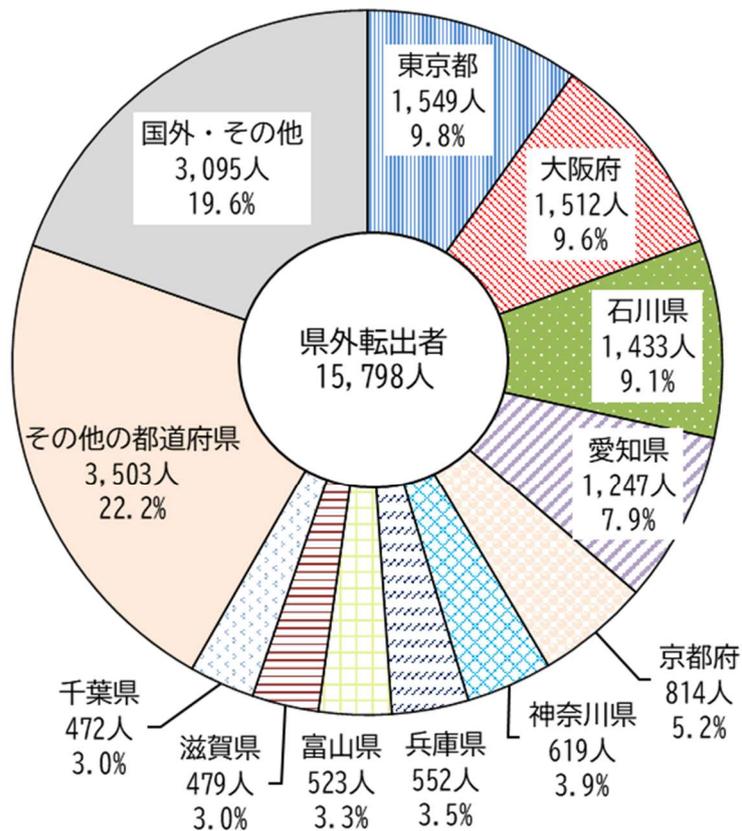
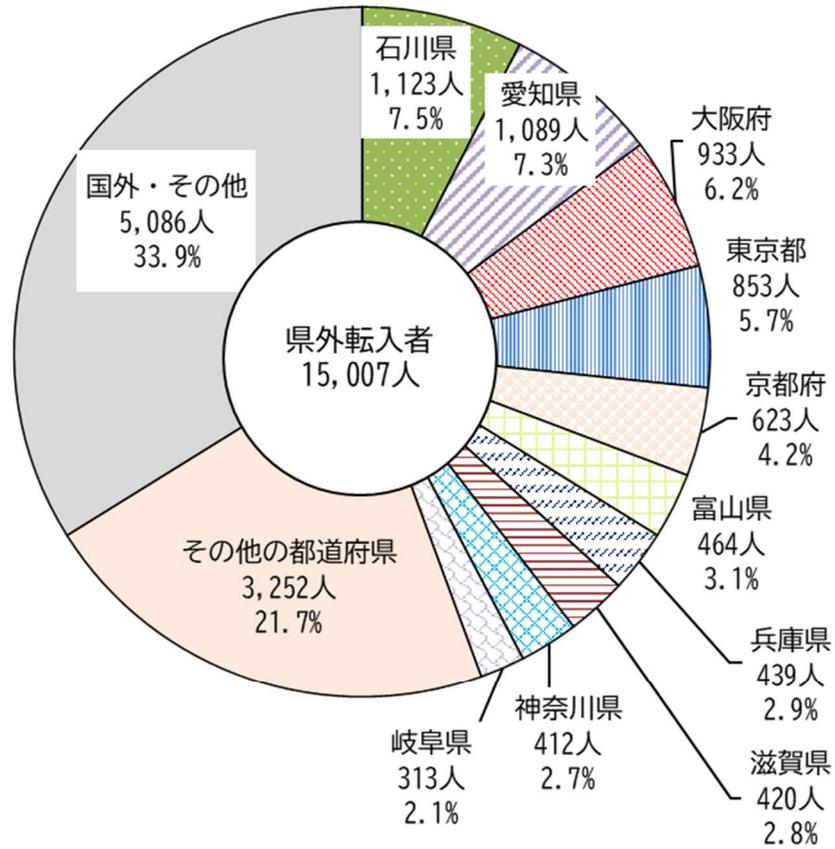


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



2 年齢・男女別人口

(1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、50～54歳が54,961人と最も多く、次いで75～79歳53,486人、70～74歳50,234人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現76～78歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現51～54歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は74～78歳と49～53歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が358,048人、女性が373,757人であり、女性が男性より15,709人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は95.8となっている。

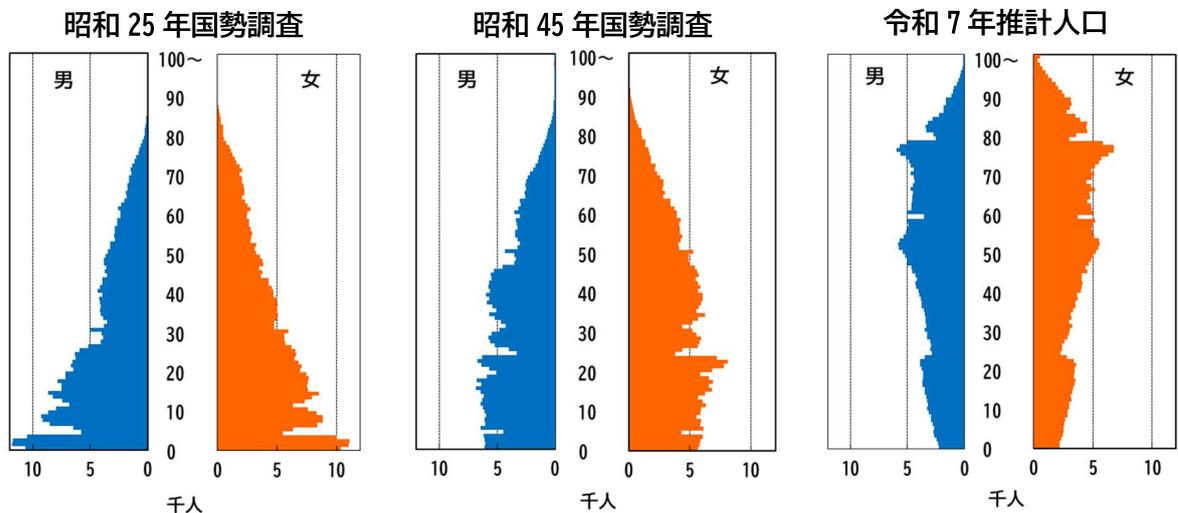
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位：人、%)

年齢	男女計	男	女	性比
0～4	24,016	12,239	11,777	103.9
5～9	27,911	14,342	13,569	105.7
10～14	32,106	16,526	15,580	106.1
15～19	35,138	17,995	17,143	105.0
20～24	33,391	17,811	15,580	114.3
25～29	28,715	15,425	13,290	116.1
30～34	32,840	17,175	15,665	109.6
35～39	36,560	18,833	17,727	106.2
40～44	41,383	21,030	20,353	103.3
45～49	47,787	24,440	23,347	104.7
50～54	54,961	28,067	26,894	104.4
55～59	47,437	23,581	23,856	98.8
60～64	47,482	23,469	24,013	97.7
65～69	46,633	22,547	24,086	93.6
70～74	50,234	23,888	26,346	90.7
75～79	53,486	24,775	28,711	86.3
80～84	36,431	15,418	21,013	73.4
85～89	24,659	8,990	15,669	57.4
90～	19,984	5,147	14,837	34.7
合計	731,805	358,048	373,757	95.8

(注)年齢不詳 男女計10,651人、男6,350人、女4,301人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）

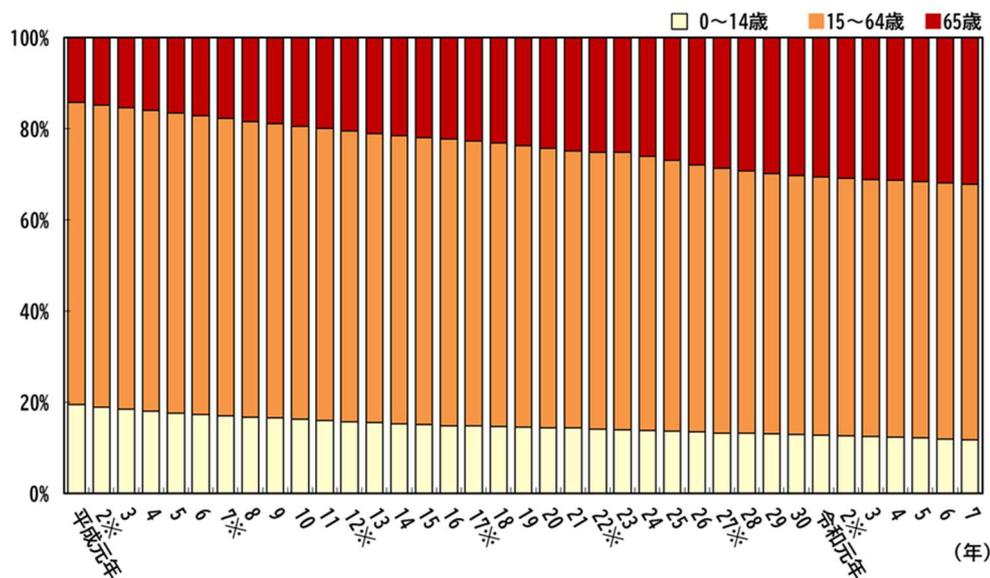


(2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、令和7年の年少人口（0～14歳）は84,033人（11.7%）で、前年に比べて0.2ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は405,694人（56.3%）であり、前年と変わらない。老年人口（65歳以上）は231,427人（32.1%）であり、前年と比べて0.2ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（年少人口に対する老年人口の比率）は275.4となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和7年）



【※は国勢調査結果】

表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和7年）

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1
30	98,058	435,182	230,554	12.8	57.0	30.2	235.1
令和元年	96,407	429,898	231,500	12.7	56.7	30.5	240.1
2※	95,544	427,984	232,684	12.6	56.6	30.8	243.5
3	93,533	422,742	233,283	12.5	56.4	31.1	249.4
4	91,386	418,233	232,706	12.3	56.3	31.3	254.6
5	88,940	412,845	232,132	12.1	56.3	31.6	261.0
6	86,322	409,583	232,135	11.9	56.3	31.9	268.9
7	84,033	405,694	231,427	11.7	56.3	32.1	275.4

(注1)平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

【※は国勢調査結果】

(注2)平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

3 世帯数 300,707 世帯（令和7年10月1日現在）

福井県の総世帯数は300,707世帯であり、前年と比べ2,104世帯（0.7%）増加した。また、1世帯当たり人員は2.43人であり、前年と比べ0.04人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図11 世帯数の推移（平成元年～令和7年）

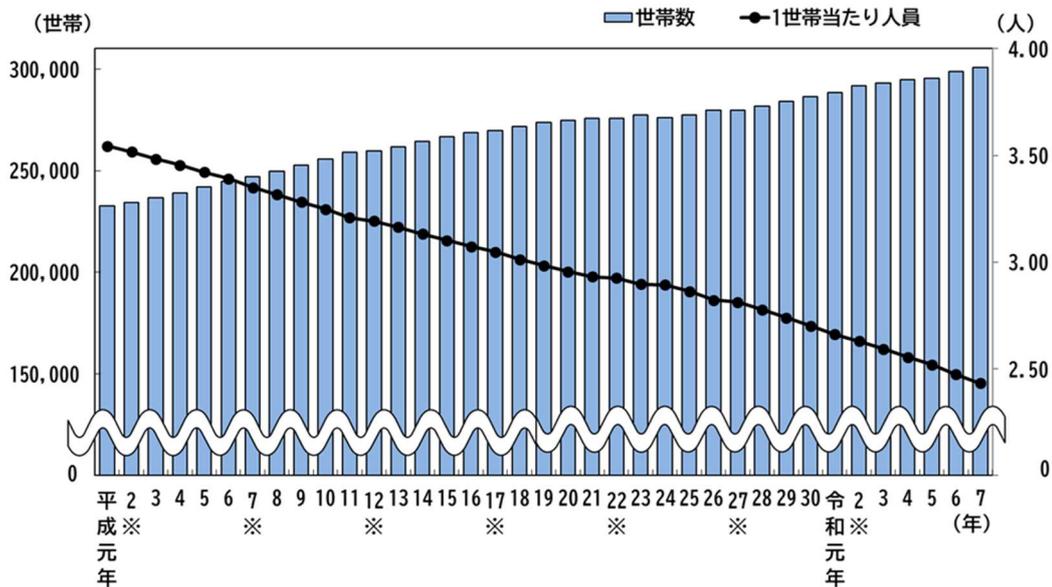


表6 世帯数の推移（平成元年～令和7年）

(単位:世帯、人、%)

区分	世帯数	増減数	増減率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△160	△0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△1,035	△0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△87	△0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74
30	286,392	2,292	0.81	2.70
令和元年	288,356	1,964	0.69	2.66
2※	291,662	3,306	1.15	2.63
3	293,092	1,430	0.49	2.59
4	294,642	1,550	0.53	2.56
5	295,510	868	0.29	2.52
6	298,603	3,093	1.05	2.47
7	300,707	2,104	0.70	2.43

【※は国勢調査結果】

4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 252,733 人であり、県全体の 34.5%を占める。次いで坂井市 85,464 人、越前市 78,312 人となっている。

(1) 人口増減

県内のすべての市町において、昨年に比べ人口が減少した。

人口増減率は、越前市が $\Delta 0.30\%$ と最も高く、次いで鯖江市 $\Delta 0.40\%$ 、おおい町 $\Delta 0.61\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 3.40\%$ であり、次いで大野市 $\Delta 2.35\%$ 、南越前町 $\Delta 2.28\%$ となっている。

広域圏単位で見ると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の $\Delta 2.14\%$ であり、次いで嶺南 $\Delta 1.32\%$ となっている

表7 地区・市町別人口および増減率

(単位：人、%)

	人口	増減数	増減率
県計	731,805	$\Delta 6,886$	$\Delta 0.93$
福井地区	270,873	$\Delta 2,210$	$\Delta 0.81$
福井市	252,733	$\Delta 2,043$	$\Delta 0.80$
永平寺町	18,140	$\Delta 167$	$\Delta 0.91$
坂井地区	111,311	$\Delta 873$	$\Delta 0.78$
あわら市	25,847	$\Delta 310$	$\Delta 1.19$
坂井市	85,464	$\Delta 563$	$\Delta 0.65$
奥越地区	48,418	$\Delta 1,058$	$\Delta 2.14$
大野市	28,165	$\Delta 679$	$\Delta 2.35$
勝山市	20,253	$\Delta 379$	$\Delta 1.84$
丹南地区	175,004	$\Delta 1,058$	$\Delta 0.60$
鯖江市	67,035	$\Delta 270$	$\Delta 0.40$
越前市	78,312	$\Delta 239$	$\Delta 0.30$
池田町	2,075	$\Delta 73$	$\Delta 3.40$
南越前町	8,961	$\Delta 209$	$\Delta 2.28$
越前町	18,621	$\Delta 267$	$\Delta 1.41$
嶺南地区	126,199	$\Delta 1,687$	$\Delta 1.32$
敦賀市	60,955	$\Delta 634$	$\Delta 1.03$
小浜市	27,266	$\Delta 445$	$\Delta 1.61$
美浜町	8,409	$\Delta 162$	$\Delta 1.89$
高浜町	9,523	$\Delta 139$	$\Delta 1.44$
おおい町	7,364	$\Delta 45$	$\Delta 0.61$
若狭町	12,682	$\Delta 262$	$\Delta 2.02$

図12 市町別人口増減率（その1）

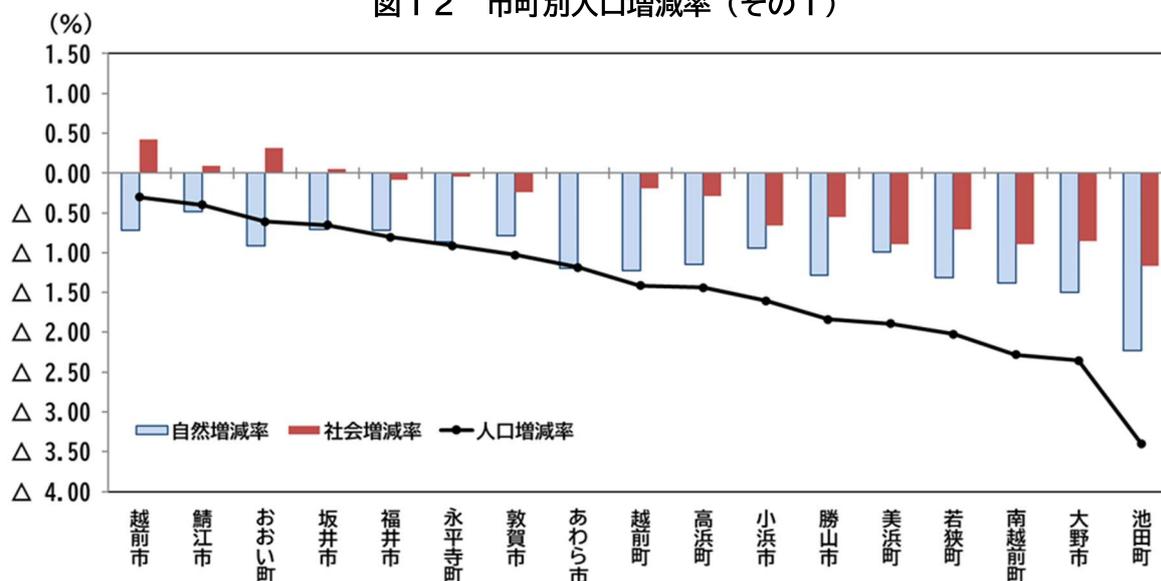
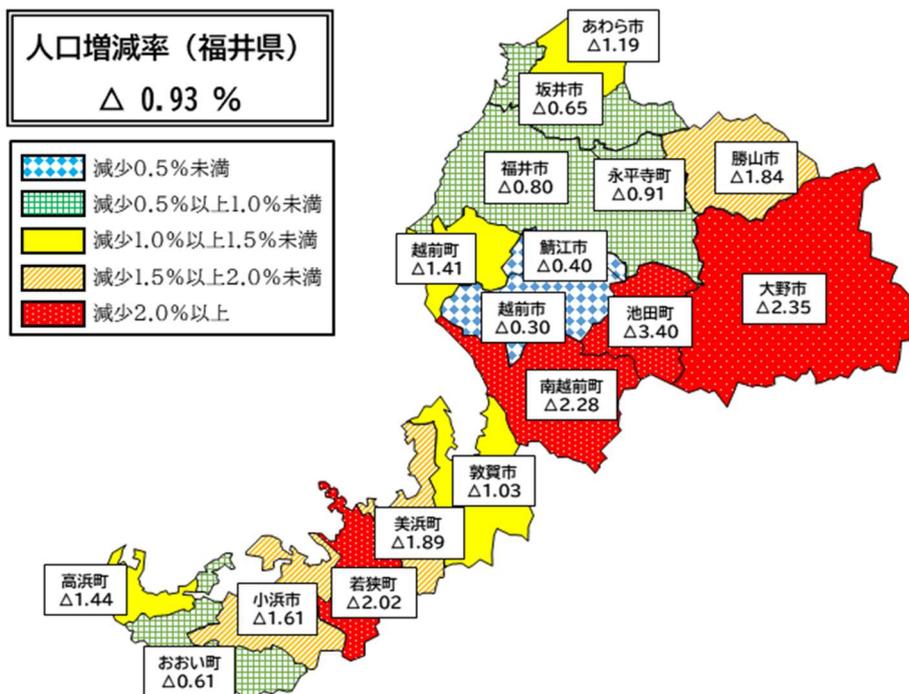


図13 市町別人口増減率（その2）



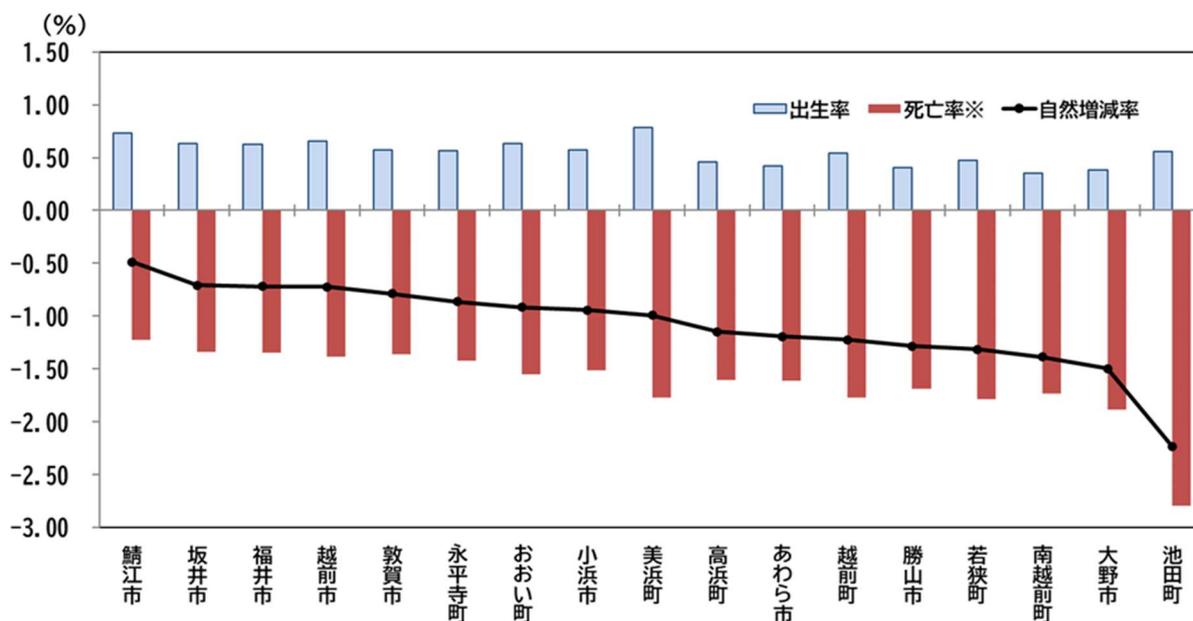
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の $\Delta 0.49\%$ であり、次いで坂井市 $\Delta 0.71\%$ 、福井市 $\Delta 0.72\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 2.23\%$ であり、次いで大野市 $\Delta 1.50\%$ 、南越前町 $\Delta 1.38\%$ となっている。

出生率は、美浜町が 0.78% と最も高く、次いで鯖江市 0.73% 、越前市 0.66% となっている。最も低いのは南越前町の 0.35% であり、次いで大野市 0.38% 、勝山市 0.41% となっている。

死亡率は、池田町が 2.79% と最も高く、次いで大野市 1.88% 、若狭町 1.78% となっている。最も低いのは鯖江市の 1.22% であり、次いで坂井市 1.34% 、福井市 1.35% となっている。

図14 市町別自然増減率



※死亡率は、人口減少の要因としてマイナスで表記。

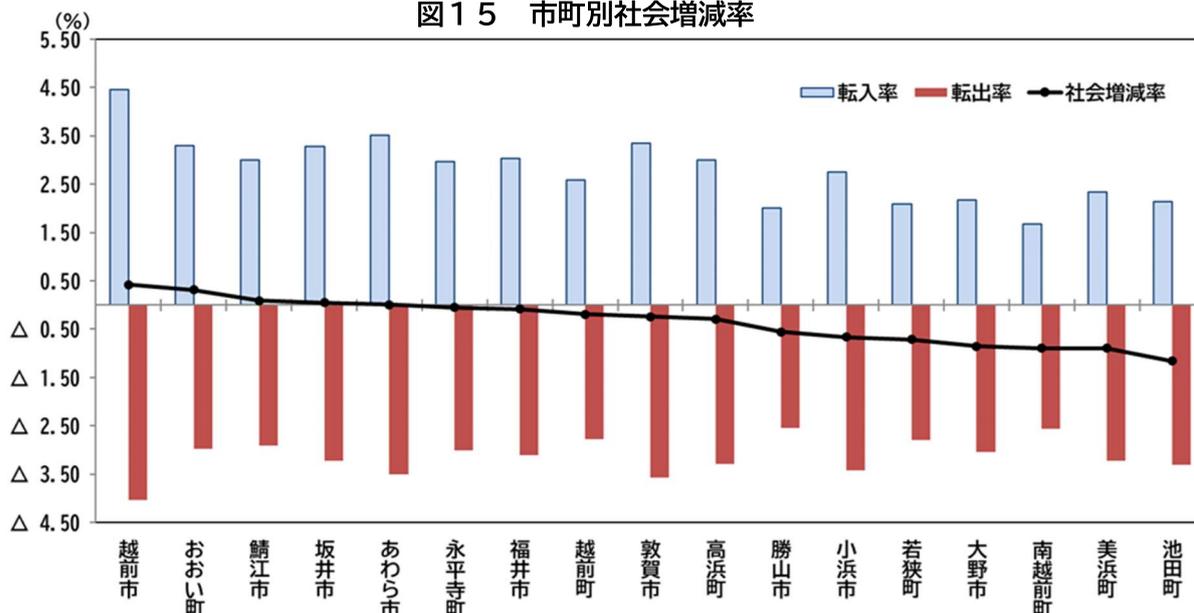
(3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは5市町であり、最も高いのは越前市が0.42%、次いでおおい町が0.31%、鯖江市が0.09%、坂井市が0.05%、あわら市が0.01%となった。他の12市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのは池田町の△1.16%であり、次いで美浜町が△0.90%、南越前町が△0.89%となった。

転入率は、越前市が4.45%と最も高く、次いであわら市が3.52%、敦賀市3.34%となっている。最も低いのは南越前町の1.67%であり、次いで勝山市2.00%、若狭町2.09%となっている。

転出率は、越前市が4.03%と最も高く、次いで敦賀市3.58%、あわら市3.51%となっている。最も低いのは、勝山市の2.55%であり、次いで南越前町2.56%、越前町2.77%となっている。

図15 市町別社会増減率

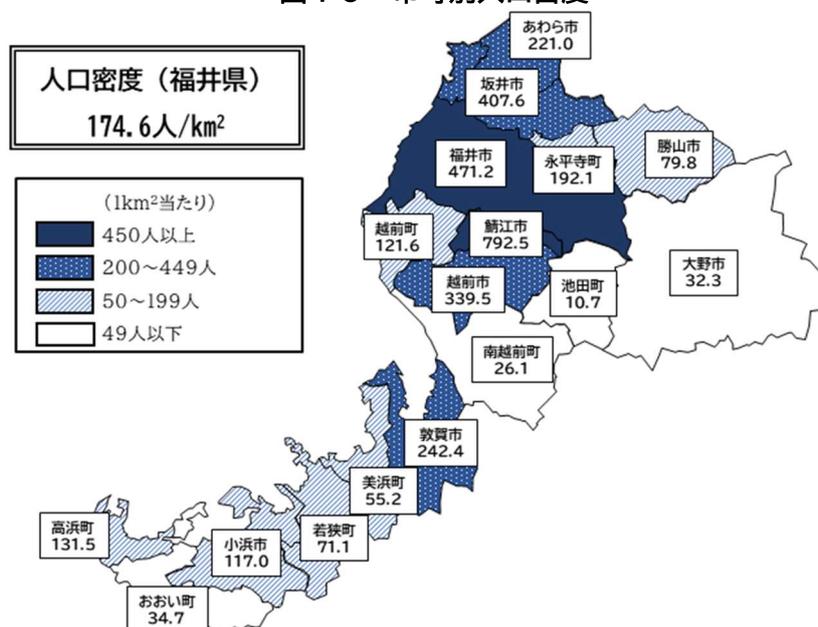


※転出率は、人口減少の要因としてマイナスで表記。

(4) 人口密度

面積1km²当たりの人口密度は、鯖江市が792.5人で最も高く、次いで福井市471.2人、坂井市407.6人となっている。最も低いのは池田町の10.7人であり、次いで南越前町26.1人、大野市32.3人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の13.0%であり、次いでおおい町12.7%、坂井市12.1%となっている。最も低いのは池田町の7.6%であり、次いで勝山市が9.9%、大野市が10.0%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは鯖江市の58.7%であり、次いで永平寺町が58.1%、福井市、越前市が57.6%となっている。最も低いのは池田町の45.2%であり、次いで南越前町48.7%、若狭町の49.4%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の47.2%であり、次いで南越前町が40.7%、勝山市が40.5%となっている。最も低いのは鯖江市の28.3%であり、次いで坂井市30.4%、越前市30.5%となっている。

老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）が最も高いのは池田町の620.3であり、次いで勝山市408.6、大野市405.1となっている。最も低いのは鯖江市の218.1であり、次いで坂井市251.2、越前市255.8となっている。

図17 市町別年齢（3区分）別人口の割合

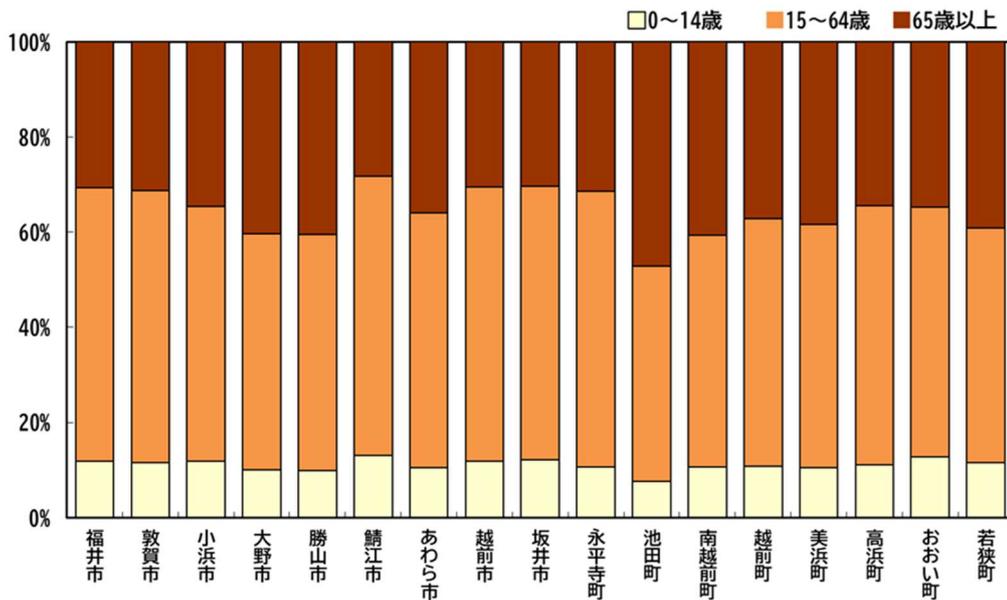
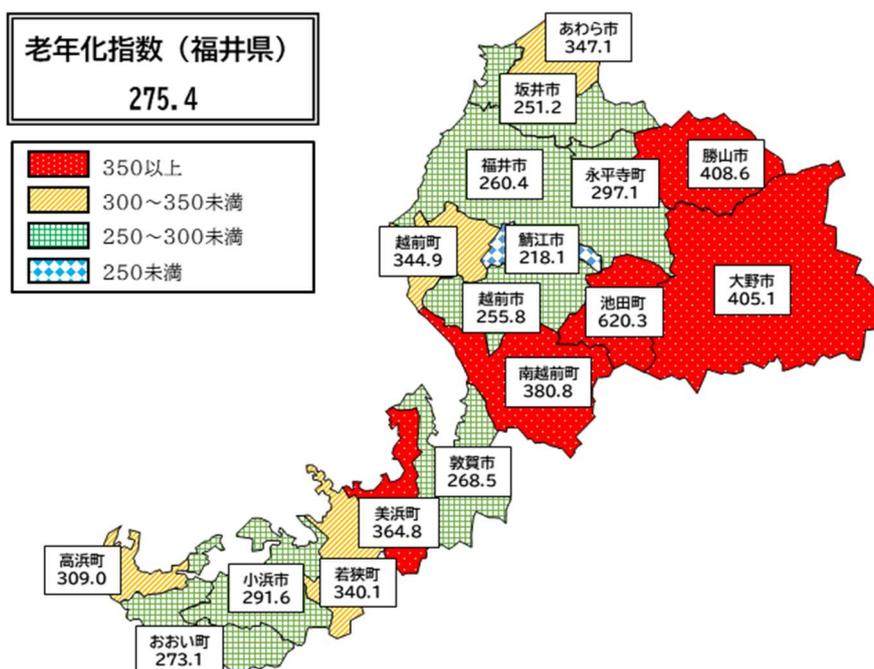


図18 市町別老年化指数



(6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の108,477世帯であり、県全体の36.1%を占めている。次いで坂井市32,697世帯、越前市31,186世帯となっている。

増減率は、越前市が1.76%と最も高く、次いでおおい町1.68%、鯖江市1.39%となっている。最も低いのは、美浜町の△1.47%であり、次いで池田町が△1.43%、南越前町が△0.72%となっている。

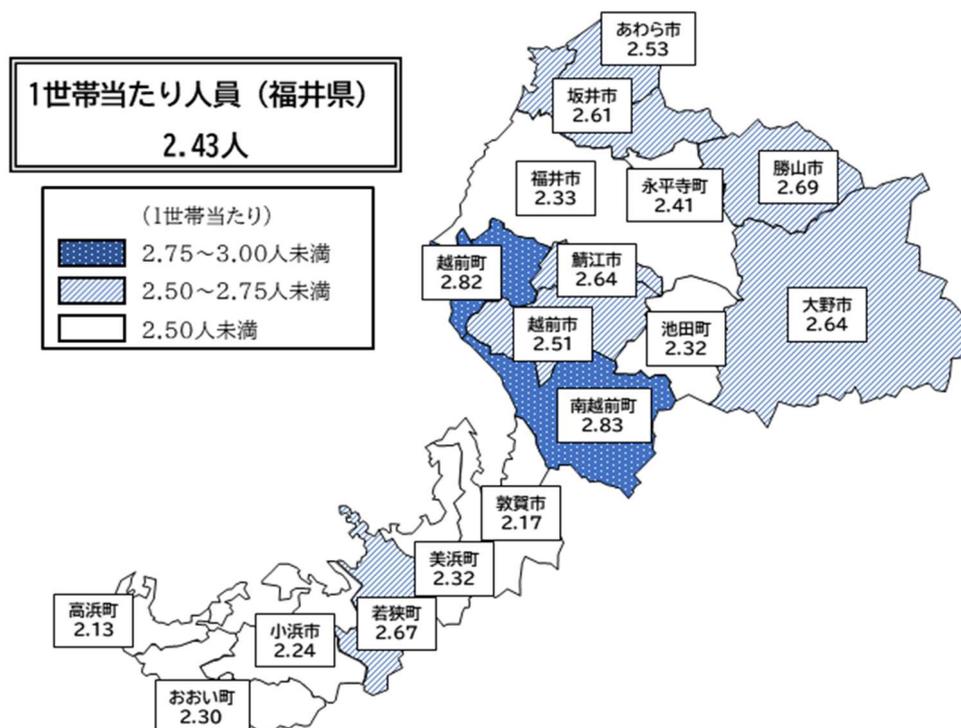
1世帯当たり人員が最も多いのは、南越前町の2.83人であり、次いで越前町2.82人、勝山市2.69人となっている。最も少ないのは、高浜町の2.13人であり、次いで敦賀市2.17人、小浜市2.24人となっている。

表8 市町別世帯数

(単位：世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県計	300,707	2,104	0.70
福井市	108,477	676	0.63
敦賀市	28,120	63	0.22
小浜市	12,163	△43	△0.35
大野市	10,661	△70	△0.65
勝山市	7,523	43	0.57
鯖江市	25,415	348	1.39
あわら市	10,232	99	0.98
越前市	31,186	540	1.76
坂井市	32,697	410	1.27
永平寺町	7,535	47	0.63
池田町	895	△13	△1.43
南越前町	3,166	△23	△0.72
越前町	6,595	34	0.52
美浜町	3,622	△54	△1.47
高浜町	4,466	23	0.52
おおい町	3,203	53	1.68
若狭町	4,751	△29	△0.61

図19 市町別1世帯当たり人員

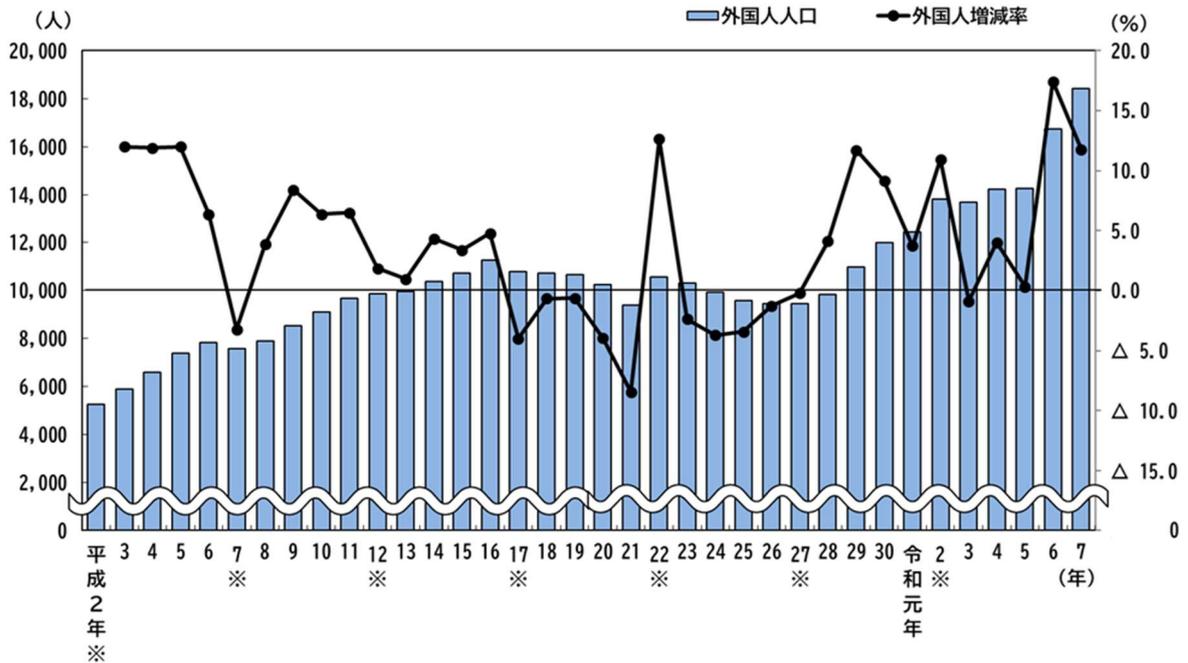


5 外国人人口

本県の外国人人口は、令和7年10月1日現在18,423人であり、県全体の2.5%を占めている。外国人人口が最も多いのは越前市で5,911人であり、次いで福井市5,168人、坂井市1,814人となっている。

本県の外国人人口は令和6年10月1日から令和7年9月30日までの1年間に1,678人増加した。市町別にみると、大野市、美浜町を除くすべての市町において、昨年と比べ人口が増加した。

図20 外国人人口・外国人増減率の推移（平成2年～令和7年）



【※は国勢調査結果】

表9 地区・市町別外国人人口および増減数・増減率

(単位：人、%)

	外国人人口	自然増減数	社会増減数	増減数	増減率
県計	18,423	57	1,621	1,678	10.02
福井市	5,168	△3	361	358	7.44
敦賀市	1,170	△5	153	148	14.48
小浜市	465	△1	27	26	5.92
大野市	523	0	△44	△44	△7.76
勝山市	408	△1	56	55	15.58
鯖江市	1,044	2	95	97	10.24
あわら市	778	1	111	112	16.82
越前市	5,911	63	582	645	12.25
坂井市	1,814	△1	149	148	8.88
永平寺町	272	1	26	27	11.02
池田町	16	0	3	3	23.08
南越前町	94	0	11	11	13.25
越前町	277	1	47	48	20.96
美浜町	78	0	△13	△13	△14.29
高浜町	166	0	11	11	7.10
おおい町	100	0	16	16	19.05
若狭町	139	0	30	30	27.52

利用者のために

I 調査の目的等

この調査は、福井県における人口移動および世帯の実態を明らかにすることを目的とし、国勢調査の結果を基に令和6年10月から令和7年9月までの動きについて令和7年10月1日現在でまとめたものである。

II 用語の解説

1 出生数、死亡数、転入者数、転出者数

日本人、外国人ともに市町からの「人口統計調査報告」で把握した、各月ごとの住民基本台帳の変更数である。

2 自然増減………「期間中の出生数」－「期間中の死亡数」

3 社会増減………「期間中の県外からの転入者数」－「期間中の県外への転出者数」

ただし、市町の場合、「期間中の市町外転入者数」－「期間中の市町外転出者数」を用いる。

$$4 \text{ 人口増減率} = \frac{\text{人口増減数}}{\text{令和6年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$5 \text{ 自然増減率} = \frac{\text{自然増減数}}{\text{令和6年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$6 \text{ 出生率} = \frac{\text{出生数}}{\text{令和6年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$7 \text{ 死亡率} = \frac{\text{死亡数}}{\text{令和6年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$8 \text{ 社会増減率} = \frac{\text{社会増減数}}{\text{令和6年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$9 \text{ 転入率} = \frac{\text{県内と県外の転入計}}{\text{令和6年10月1日現在人口}} \times 100$$

(市町別指標)

$$10 \text{ 転出率} = \frac{\text{県内と県外の転出計}}{\text{令和6年10月1日現在人口}} \times 100$$

(市町別指標)

$$11 \text{ 老年化指数} = \frac{\text{65歳以上人口}}{\text{0~14歳人口}} \times 100$$

注意

- 1 本文および図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。本文および図表中の値は、表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- 2 市町では、住民基本台帳に基づく人口を人口として公表している場合が多く、国勢調査を基本にその後の増減で集計している県の推計人口とは異なっている。
- 3 県が公表している推計人口の出生、死亡数は、毎月1日から月末までの市町への届出日を基に、10月1日を基準日として1年間の動きを調査しているが、厚生労働省の「人口動態調査」は、各年の1月1日から12月31日までに出生、死亡した実数である。



福井県の推計人口

—令和7年10月1日現在—

令和8年（2026年）2月発行

編集・発行 福井県
未来創造部統計調査課
人口統計グループ

〒910-8580

福井市大手3丁目17番1号

電話 0776-20-0273（直通）

0776-21-1111（代表）

福井県統計調査課ホームページ

福井県の推計人口

検索